

ものがたりの内ようを読みとる

月

日

年

組

番

名前

正答数

5

でてきたかな



つぎの文しようを読んで、下のもんだいに

答えましょう。

- (1) あまいにおいのするまつ黄色い花とあります
が、何の花ですか。

「 」

田んぼのあぜみちに、タンポポがさいていまし
た。^①あまいにおいのするまつ黄色い花です。

そこへひらひらと白いチヨウチヨが、あそびに
きて、
「タンポポさん、あなたは春のブローチね。」

と言いました。
白いチヨウにそう言われると、

「ほんとうにそう見えて。」

と、タンポポもうれしくなりました。

こんどは、ヒバリがあそびにきて、
「タンポポさん、あなたは野原のお星さまみたい。」

と言いました。
ヒバリにこう言われると、

「まあ、お星さまだなんて。」

とれしくなりました。

春もおわりになつて、タンポポの黄色い花は、
白いぱやぱやの毛になりました。
ぱやぱやの毛には、たねになつた子どもが入つ
ていました。

風がふいてくれば、もういつでもぱやぱやの子
どもたちは、とんでいるよになつていています。
そこで、タンポポのお母さんが、子どもたちに
言いました。

「さあ、みんなでいくんですよ。^④どこへどん
でいつても、しんぱいはありませんよ。かみさ
まが、ちゃんとまもつてくれますからね。」

お話をおわると、風が、あおるようにふわっと
ふいてきました。
ぱやぱやのタンポポの子どもたちは、いつへん
にそろつて、空へまいあがりました。
「さようなら、お母さん。」
「さようなら、元気でね。」

(石森延男「タンポポのたび」より)

- (1) あまいにおいのするまつ黄色い花とあります
が、何の花ですか。
- (2) 白いチヨウにそう言われるとあります
が、何に見えると言われたのですか。□にあ
てはまることばを、文しようの中から四字
でぬきだしましょう。
- (3) ヒバリにこうと言われるとあります
が、何に見えると言われたのですか。□にあ
てはまることばを、文しようの中から四字で
ぬきだしましょう。
- (4) どこへどんでいつても、しんぱいはあり
ませんとあります
が、それはどうしてです
か。つぎから一つえらびましょう。
- (5) ぱやぱやのタンポポの子どもたちとあり
ますが、何のことですか。つぎから一つえ
らびましょう。

4 3 2 1 タンポポの花。
タンポポのはっぱ。
タンポポのたね。

4 3 2 1 タンポポを見ている子ども。
」

春の



野原の



わのがたりのぬりえを読み込む

(5) (4) (3) (2) (1)

3 2 タンポポ
お星さま
ブローチ